



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月10日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO兼COO (氏名) 野村秀輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ統括 (氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の連結業績(2024年5月1日~2025年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	24,456	12.9	1,015	△13.2	1,019	△13.6	641	△17.2
2024年4月期第3四半期	21,662	13.2	1,170	40.4	1,180	41.0	774	43.3

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 659百万円(△16.0%) 2024年4月期第3四半期 784百万円(40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	50.80	—
2024年4月期第3四半期	61.25	—

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	14,209	7,483	51.1
2024年4月期	13,624	7,139	51.0

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 7,263百万円 2024年4月期 6,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	12.00	—	7.00	—
2025年4月期	—	7.00	—		
2025年4月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2024年4月期第2四半期末の1株当たり配当金は6円、年間配当金は13円となります

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,987	13.9	1,816	6.8	1,815	5.6	1,210	11.6	95.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期3Q	12,752,000株	2024年4月期	12,752,000株
② 期末自己株式数	2025年4月期3Q	216,352株	2024年4月期	101,502株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年4月期3Q	12,624,056株	2024年4月期3Q	12,643,418株

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、旺盛なインバウンド需要や継続的な賃上げによる所得環境の改善などがあった一方で、インフレの更なる進行や金利の上昇、米国大統領の交代などにより、先行き不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、値上げの浸透に成功し、回復基調となるサロンが存在する一方で、人手不足、インフレによる仕入れ原価の高騰、同業との競争激化を背景とした美容室の倒産が過去最多を更新するなど、二極化が進む状況となっております。

そのような状況下、当社グループでは今後の大いなる成長実現のために積極投資を継続し、美容業界における圧倒的No.1プラットフォームの地位確立に向けて努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は24,456,377千円（前年同期比12.9%増）、売上総利益は6,181,865千円（前年同期比12.6%増）、営業利益は1,015,791千円（前年同期比13.2%減）、経常利益は1,019,718千円（前年同期比13.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は641,261千円（前年同期比17.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等向けに提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善に努めると共に、物流を新たなコアコンピタンスとするべくオートメーション化された新DC（物流センター）の開設準備を進めるなど、美容商材流通におけるNo.1シェア獲得に向けて準備してまいりました。

この結果、物販事業全体としての売上高は20,375,873千円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益は850,303千円（前年同期比19.3%減）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより、東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の5拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで美容サロンにおける独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き、美容サロンの案件に加えて、案件単価の高いクリニックやショップの案件も多数獲得し、増収増益に転ずることが出来ました。

この結果、当事業の売上高は2,314,182千円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は121,969千円（前年同期比37.2%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。これら周辺ソリューション事業は、今後の当社グループの成長のキードライバーとなるものと考え、サービスラインナップの拡充と、新規顧客の獲得やクロスセルに注力しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険を中心に各サービスが堅調に伸長したことにより、6四半期連続で過去最高の売上を記録することが出来ました。当事業の売上高は1,766,320千円（前年同期比24.9%増）、セグメント利益は230,174千円（前年同期比28.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、11,192,593千円となりました。これは、主に現金及び預金と売上債権は減少したものの、棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.6%増加し、3,017,029千円となりました。これは、主に無形固定資産の償却による減少があったものの、有形固定資産及び投資その他の資産が増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、5,086,349千円となりました。これは、主に前受金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、1,639,284千円となりました。これは、主に長期借入金と預り保証金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、7,483,989千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少176,903千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加641,261千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月9日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,523,768	3,304,852
受取手形及び売掛金	2,869,968	2,641,976
リース投資資産	242,469	298,361
営業投資有価証券	161,984	181,984
商品及び製品	3,199,442	3,832,989
仕掛品	150,992	199,672
前渡金	221,950	135,945
その他	571,070	616,610
貸倒引当金	△20,226	△19,799
流動資産合計	10,921,420	11,192,593
固定資産		
有形固定資産	325,832	437,762
無形固定資産		
ソフトウェア	327,012	264,715
のれん	207,837	155,430
その他	7,684	19,312
無形固定資産合計	542,533	439,458
投資その他の資産	1,834,804	2,139,807
固定資産合計	2,703,170	3,017,029
資産合計	13,624,591	14,209,623
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,015,919	1,758,038
短期借入金	5,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	547,085	674,556
未払金	394,208	387,280
未払法人税等	381,522	220,556
前受金	523,389	799,792
契約負債	262,722	304,654
資産除去債務	3,231	—
賞与引当金	89,396	244,829
その他	634,948	666,642
流動負債合計	4,857,423	5,086,349
固定負債		
長期借入金	1,085,531	1,099,605
退職給付に係る負債	42,492	34,804
資産除去債務	65,223	67,272
その他	434,208	437,602
固定負債合計	1,627,455	1,639,284
負債合計	6,484,879	6,725,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	794,585	818,498
利益剰余金	5,469,011	5,933,369
自己株式	△80,608	△243,856
株主資本合計	6,951,373	7,276,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	△8,616
為替換算調整勘定	△3,864	△4,343
その他の包括利益累計額合計	△1,088	△12,959
非支配株主持分	189,426	220,552
純資産合計	7,139,712	7,483,989
負債純資産合計	13,624,591	14,209,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)
売上高	21,662,150	24,456,377
売上原価	16,172,755	18,274,511
売上総利益	5,489,394	6,181,865
販売費及び一般管理費	4,318,638	5,166,073
営業利益	1,170,755	1,015,791
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,110	6,449
為替差益	4,897	—
受取手数料	7,557	6,438
債権譲渡益	3,682	—
その他	2,754	6,825
営業外収益合計	25,003	19,712
営業外費用		
支払利息	5,200	7,754
為替差損	—	2,278
チャージバック損失	7,594	130
その他	2,563	5,621
営業外費用合計	15,358	15,786
経常利益	1,180,400	1,019,718
特別損失		
関係会社株式売却損	27,737	—
特別損失合計	27,737	—
税金等調整前四半期純利益	1,152,662	1,019,718
法人税、住民税及び事業税	399,582	431,683
法人税等調整額	△37,925	△83,159
法人税等合計	361,656	348,523
四半期純利益	791,006	671,194
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,601	29,932
親会社株主に帰属する四半期純利益	774,404	641,261

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	791,006	671,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△11,392
為替換算調整勘定	△6,117	△441
四半期包括利益	784,888	659,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766,262	629,389
非支配株主に係る四半期包括利益	18,626	29,969

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	6,995,138	—	—	6,995,138	—	6,995,138
化粧品等	10,620,569	—	—	10,620,569	—	10,620,569
金属スチール家具	357,855	—	—	357,855	—	357,855
その他	—	2,274,961	1,413,624	3,688,586	—	3,688,586
顧客との契約から生じる収益	17,973,563	2,274,961	1,413,624	21,662,150	—	21,662,150
外部顧客への売上高	17,973,563	2,274,961	1,413,624	21,662,150	—	21,662,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,668	1,846	3,671	18,185	△18,185	—
計	17,986,232	2,276,807	1,417,295	21,680,335	△18,185	21,662,150
セグメント利益	1,053,551	88,916	178,897	1,321,365	△150,609	1,170,755

(注) 1. セグメント利益の調整額△150,609千円には、セグメント間取引消去23,856千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,465千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	7,350,283	—	—	7,350,283	—	7,350,283
化粧品等	12,678,065	—	—	12,678,065	—	12,678,065
金属スチール家具	347,524	—	—	347,524	—	347,524
その他	—	2,314,182	1,766,320	4,080,503	—	4,080,503
顧客との契約から生じる収益	20,375,873	2,314,182	1,766,320	24,456,377	—	24,456,377
外部顧客への売上高	20,375,873	2,314,182	1,766,320	24,456,377	—	24,456,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,633	23,144	8,935	50,712	△50,712	—
計	20,394,506	2,337,327	1,775,255	24,507,089	△50,712	24,456,377
セグメント利益	850,303	121,969	230,174	1,202,447	△186,655	1,015,791

(注) 1. セグメント利益の調整額△186,655千円には、セグメント間取引消去4,343千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△190,998千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	130,484 千円	142,700 千円
のれん償却費	52,406 千円	52,406 千円